

2024年11月16日(土) 13:30 国立科学博物館(上野)集合

日本のモノづくり 文化私論



- 1●博物館展示見学会
- 2●道具学レクチャー
- 3●意見交換会(懇親会)

江戸時代の文化から見る日本のモノづくり

海外で日本の「モノづくり」が紹介される時、かつての「Made in Japan」ではなく「KAIZEN (改善)」とか「KANBAN (かんばん)」のように、日本語をそのまま表記する記事を見るようになった。日本独自の「モノづくり (MONODZUKURI)」が、世界的に認められつつある。しかし「モノづくり」とは一体どのようなものだろうか。「わび」とか「さび」のように、日本人であれば何となく理解し、通じ合えているが、いざ説明しようとするれば、言葉に窮してしまうのではないだろうか。「もったいない」という言葉も、海外の人によって気づかされた大量生産大量消費社会の中で、忘れていた日本の古くからの文化である。実は「改善」も「かんばん」も、「もったいない」の実践といえる。無意識の文化に潜む「モノづくり」。その源流は、260年余続いた平和な江戸時代が生んだ文化だと考えている。〔講師：鈴木一義氏より〕



国立科学博物館 産業技術資料情報センターのHPより



鈴木一義氏 Kazuyoshi Suzuki : レクチャー講師
国立科学博物館 名誉研究員

1957年新潟県生まれ。81年東京都立大学工学部機械工学科卒業。83年同大学院工学研究科材料力学専攻修士課程修了、日本NCR株式会社技術開発部勤務を経て、国立科学博物館理工学研究部、2016年より産業技術史資料情報センター長、22年定年退職。日本における科学および技術の発展状況を、江戸時代のからくり人形から、現代の自動車、航空機産業まで、幅広い分野で博物館的な実物資料の視点から実証的な見地で調査・研究。

[申込方法・詳細/Peatix](#)

開催日時・集合場所・会場

開催日時：11月16日（土）13：30～19：00

集合時間・場所：13：30に 国立科学博物館 [地球館2F「科学と技術の歩み/地球を探る」展示会場](#)入り口前（地球館2Fエスカレータ上がったあたり）

レクチャー会場：[TKP上野駅前ビジネスセンター](#) カンファレンスルーム6F 6A

タイムスケジュール

13：30 集合→●見学会：鈴木一義氏の案内で[博物館展示コーナー](#)を見学（60分）

14：30 →レクチャー会場へ移動（[TKP上野駅前ビジネスセンター](#)）

15：00 ●道具学レクチャー：鈴木一義氏講演会+Q&A会（120分）

17：00 ●交流会：（同室にて懇親会）ケータリング飲食（120分）19：00 終了

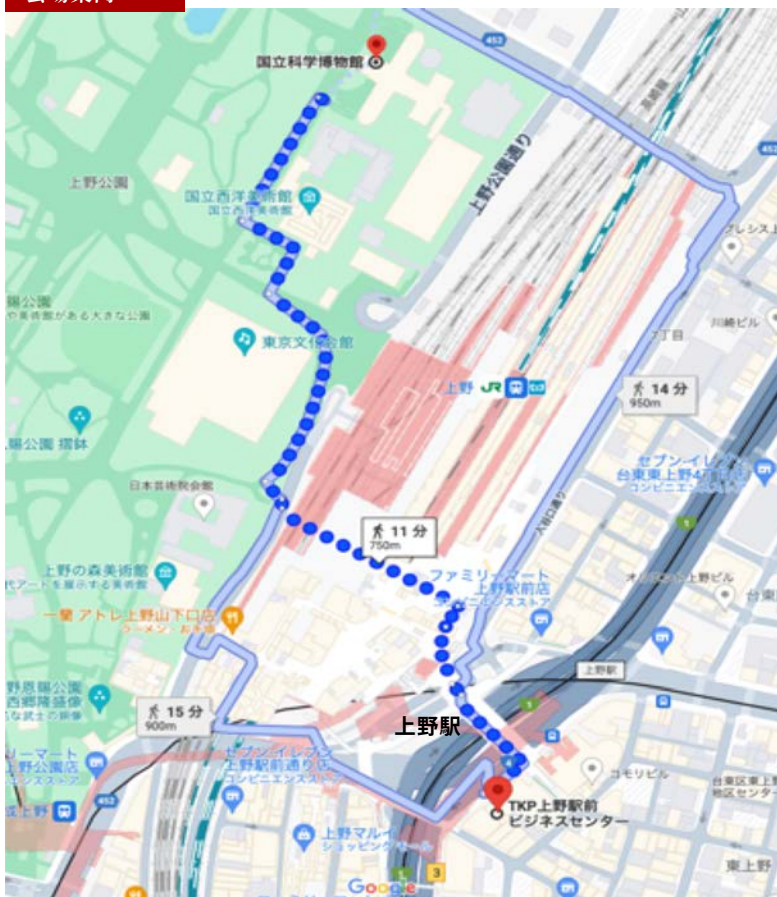
参加費 →参加申し込みは [Peatix](#) のみとなります

●見学会+レクチャー参加費 個人会員・法人会員 2,500円 学生会員 2,000円（非課税）
一般（学生も同額）3,000円（税込）

●交流会（懇親会）参加費 3,500円（税込）

博物館入場チケットは集合時間までに各自でお求めください（入館料630円/65歳以上無料）

会場案内



●集合場所
国立科学博物館・地球館2F
<https://www.kahaku.go.jp/userguide/access/>



●レクチャー会場
TKP上野駅前ビジネスセンター
カンファレンスルーム6A（6F）
https://www.kashikaigishitsu.net/facilities/bc-ueno-ekimae/access/?ctid=ad_ysa_kk_1201